

Sustainable Remediation コンソーシアム

平成 28 年度事業報告

1. 平成 28 年度の活動方針と事業

1. 1. 活動方針

本コンソーシアムは、日本における Sustainable Remediation（以下、SR）の概念の構築、普及を図ることにより、土壌汚染による社会・経済的影響の低減を目的とする。

本年度は、Sustainable Remediation コンソーシアムの立ち上げ初年度として、コンソーシアムの基盤を確立するとともに、WG 活動の開始、SuRF への加盟、SR に関する事例調査と整理並びに啓蒙・周知も含めた活動を実施していく予定である。

1. 2. 事業

規約第 3 条にある通り、以下に示す 5 つの事業を実施する予定である。これらの事業については、WG 活動等と連携して進めていく。

- 一 国内における SR の概念、ツールの整備
- 二 国内における SR に関する知見の普及、周知
- 三 持続可能な汚染土壌、地下水対策の手法確立に伴う土壌汚染による社会、経済影響の低減
- 四 世界各国の Sustainable Remediation Forum (SuRF) の日本チーム「SuRF-JP」
として国際調和、情報交換
- 五 ISO/TC190SC7/WG12 との連携

2. コンソーシアムの運営体制

会長 : 保高徹生 (産業技術総合研究所)

副会長 : 中島誠 (国際航業)、張銘 (産業技術総合研究所)

監事 : 門間聖子 (応用地質)

運営委員 :

保高徹生 (産業技術総合研究所)

張 銘 (産業技術総合研究所)

中島 誠 (国際航業)

古川靖英（竹中工務店）
巢山廣美（昭和シェル石油）
田中利和（東京都環境局）※2016 年 5 月より名取雄太氏に変更
事務局：保高徹生（産業技術総合研究所）

3. 活動記録

3. 1. 総会・研究会の開催

年次通常総会：2016 年 6 月 7 日

第 1 回研究会：2016 年 6 月 7 日（第 1 回研究会プログラム参照）

第 2 回研究会：2016 年 11 月 18 日（第 2 回研究会プログラム参照）

3. 2. GR 検討 WG：(WG 担当：保高徹生・張銘)

4 回の WG を開催し、日本版のベスト・マネジメント・プラクティス (BMP) のプロトタイプ作成の検討、GR-tool の活用法の検討を実施した。

第 1 回 WG 2016 年 7 月 20 日：議事次第参照

第 2 回 WG 2016 年 10 月 13 日：議事録参照

第 3 回 WG 2016 年 11 月 18 日：議事録参照

第 4 回 WG 2017 年 3 月 27 日：議事録参照

3. 3. SR 評価法 WG (WG 担当：中島誠・古川靖英)

3 回の WG を開催し、SR の概念の構築や必要性などについて検討・グループディスカッションを行うとともに、各国および国内の SR に関する評価手法について整理を行った。

第 1 回 WG 2016 年 7 月 20 日：議事次第参照

第 2 回 WG 2016 年 11 月 18 日：議事次第参照

第 3 回 WG 2017 年 3 月 27 日：議事録参照

3. 4. SR/GR 事例収集・共有 (担当：事務局 (産総研))

SR/GR の事例収集を実施し、研究会、WG での情報提供および研究会、WG での会員へのおよびコンソーシアム内の資料の共有を実施した。

3. 5. 国内周知・普及活動

- ・第 12 回 土壌汚染処理技術フォーラムでの発表（張、古川）
- ・経済産業省勉強会での報告の実施（保高）

3. 6. 国際対応（保高・古川）

- ・ SuRF-JAPAN の HP 作成。
- ・ SuRF への加盟。
- ・ ISRA の HP より SuRF-JAPAN の HP へのリンクを作成。
- ・ ISRA の WEB 会議への出席（古川）